(対象期間:令和5年10月1日~令和6年 9月30日)

エコアクション21 環境活動レポート

株式会社ダイナナ





〒419-0123

静岡県田方郡函南町間宮350-12

TEL:055-970-2341 FAX:055-970-3015

目 次

[1] 当社の概要 [2] 対象範囲、対象期間、推進組織、役割分担 環境方針 [3] [4] 環境目標 環環境活動計画(次年度分を含む) [5] [6] 環境活動計画の取組結果とその評価 [7] 環境目標の達成状況(実績) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 [8] [9] 代表者による全体評価と見直し

[10] 地域貢献活動について

[1]当社の概要

(1)事業社名及び代表者名

株式会社ダイナナ 代表取締役 内田 聡

(2)所在地

- (1)本社(登記上の本社): 〒411-0816 静岡県三島市梅名371-2
- ②本社事務所 : 〒419-0123 静岡県田方郡函南町間宮350-12
- ②厚木支店:〒243-0815 神奈川県厚木市妻田西1-22-17
- ③熱海営業所 : 〒413-0022 静岡県熱海市昭和町19-9

(3)環境経営最高責任者

代表取締役社長 内田 聡

(4)環境管理責任者及び事務局担当者連絡先

責任者 総務部長 品竹 大輔

担当者 環境管理事務局 品竹 大輔

連絡先 TEL: 055-970-2341代 FAX: 055-970-3015

(5)事業の内容

①工務部

- 電気設備設計施工
- 消防、情報、信号設備
- 防災、防犯設備
- ECO事業・省エネ提案
- コージェネレーション
- 太陽光発電システム・エコキュート

(6)事業の規模<令和6年9月期>

従業員数 57 人

年間売上高 2,264百万円

[2]对象範囲、对象期間、推進組織、役割分担

(1)対象範囲(全組織、全活動)

①適用する事業所・本社事務所

•厚木支店

•熱海営業所

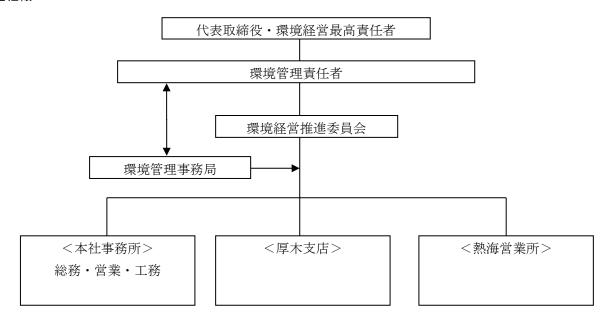
•現場

②適用構成員・当社役員、従業員(派遣社員、パート含む

(2)レポート対象期間

令和5年10月1日から令和6年9月30日

(3)推進組織



(4)役割分担

環境経営最高責任者	環境マネジメントを計画的に実施するための内容を確認、決定する。
(社長)	① 管理責任者をはじめ必要な責任者を任命する。
	② システムの構築・運用・維持に必要な経営諸資源を準備する。
	③ 基本理念・基本方針を制定し基本的な環境目標を設定する。
	④ システムの構築・運用に関する情報を収集し、システム全体の見直しを行
	い、必要あれば改定を指示する。
	⑤ 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	環境マネジメントシステムの推進・維持をする。
	① 経営資源の合理的・効果的な運用を図り、環境経営に関する委員会組織(推
	進委員会)を運営する。
	② 最高責任者による見直しのための情報として、システムの構築・運用に関
	する情報を最高責任者に提供する。
環境経営推進委員会	環境管理責任者を委員長として(随時)実施する。
	・各GLで構成し環境マネジメントシステム及び環境改善に関する会議を実施
	する。
環境管理事務局	・環境管理責任者を全面的に補佐する。

株式会社ダイナナ 環境方針

基本理念

株式会社ダイナナは、「自守自立の精神」「誠意を持って奉仕」「従業員の幸福を希求する」「会社の繁栄をはかる」をモットーに、常に"未来"と"環境"を見つめ、「電気・設備・環境」を有効にリンクさせトータルな事業展開によってお客さまのお役に立つことを目指していきます。

行動指針

当社は、すべての事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、 以下の環境保全活動を推進します。

- 1. 事業活動の全領域で、安全を図り、省エネルギー・省資源・リサイクルなどに配慮した活動・サービスを提供します。
- 2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営システムと環境保全実績が継続的に 改善できるように推進します。
- 3. 環境関連法令と当社が参加した協定等を遵守することはもとより、可能であれば、自主管理基準を設けて環境管理レベルの向上を図ります。
- 4. 次の事項を重点的なテーマとして、環境目標を設定し、必要あれば目標を見直すなどの効果的な取組みを行います。
 - (1)「環境への負荷チェック」の結果、著しい項目に対する改善目標管理。特に二酸化炭素排出抑制については、削減目標を設けて目標管理を行います。
 - (2) 廃棄物についてはリサイクル率を目標に設定し、分別・リサイクル活動を行います。
 - (3)総排水量抑制、化学物質使用量削減については使用量が少ないため、削減目標は設けず、当該化学物質を適正に管理していきます。
 - (4) 若年技術者の確保及び資格取得を推進します。
 - (5)元請工事の比率を向上させます。
- 5. 環境保全関連の行政機関・団体などの環境保全施策に協力し、社会貢献活動を推進します。
- 6. 環境教育・訓練、社内広報活動の実施により、全ての構成員に環境方針を周知徹底すると 共に、環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図 ります。
- 7. この環境方針は、社外の人にも公開します。

平成24年10月1日制定 令和 6年 4月1日改定 株式会社ダイナナ 代表取締役社長 内田 聡

[4]環境目標

当社の単年度別の環境目標は以下の通りである。

	No.	テーマ	単年度別目標 (R4/10 月~R7/9 月)
	1	二酸化炭素排出量削減	各年度とも前年比1%削減を目標とする。
原則と	2	廃棄物 リサイクル 率の向上	産業廃棄物量については、その排出量が業務内容および業務量に伴っ て増減するため削減目標は定めないが、リサイクル率を95%以上にす ることを目標とし分別に努める。
則とする目標	3	水使用量 削減	当社が使用する水使用量については、その使用量の殆どが生活用水と しての使用であるため削減目標は定めない。水使用量を適正に管理す ることで維持管理とする。
	4	化学物質使 用量削減	当社で使用する化学物質には「PRTR法」に該当するものはごく少量のものを除いてほとんどない。したがって、削減目標は定めずに維持管理とする。
経営上	5	人員の確保 及び資格取 得の促進	経営事項審査の技術職員名簿において 35 歳未満の割合が 20%以上かつ 35 歳未満の新規掲載者が 1%以上となるよう若年の技術者の育成及び確保を目標とする。
の目標	6	元請工事の 比率の向上	受注工事目標の30%以上を目標とする。

[5]環境活動計画(次年度分を含む)

機等の電 電源オフ の消灯 灯 見直し 検討 ならびに			1月	2 月 チェックリス	3 月		5 月 同左升	6 月 ェックリスト ついて再		8 月	9 月
要箇所の『電影等の電電源オフの消灯灯見直し』では、「電影ならびに」「電影ならびに」「電影ならびに」「電影ならびに」「電影ならびに「電影響を表現している。「「電影」では、「電影を表現している。「電影を表現している。」では、「電影を表現している。「電影を表現している。」では、「電影を表現している。「電影を表現している。」では、「電影を表現している。「電影を表現している。」では、「でききまする。」では、「できまする。」できまする。」では、「できまする。」では、「できまする。」できまする。」では、「できまする。」できまする。」では、「できまする。」できままする。」できまする。」できままする。」できまする。」できまする。」できまする。」できままする。」できままする。」できまままままる。」できままする。」できままる。」できまままままままる。」できままる。」できまままる。」できままる。」できままままる。。」できまままままる。」できままままる。」できままままる。」できままま	【全部署 電力使用量	別談心	月トロール」	チェックリス	月	月	月 同左升	月エックリスト	月_	_	_
要箇所の【電影等の電を表験等の電を表験をの電を表験を表現する。 では、	【全部署] 量削减 [、]	⊦ □- <i>η</i> ν]	チェックリス		1	同左升	ェックリスト	継続	月	<u>月</u>
灯 見直し 【そ 検討 ならびに	【その他】 -	冬場	20 度以	VIT.							
				, Γ	•				夏場	28 度以	人上
ど	【全部署]		エコ	ドライ)ブ推進	生・燃乳	費の把払	屋		<u>></u>
)作成) チ	チェック	・指導									>
 向上		周矢	印徹底、	チェ	ック、	指導					 >
				周知	徹底						>
				倉	庫管理	!					>
の徹底			1	採用計	画の検	討、実	译行				
の通知				月知徹.	底、チ	エック	、指導	Ī			→
				営	業戦略	の実行	Î				>
					か徹底 採用計 の通知 周知徹)	の徹底 採用計画の検	倉庫管理 が徹底 採用計画の検討、第 の通知 周知徹底、チェック	倉庫管理 の徹底 採用計画の検討、実行	倉庫管理 の徹底 採用計画の検討、実行 の通知 周知徹底、チェック、指導	倉庫管理 の徹底 採用計画の検討、実行 の通知 周知徹底、チェック、指導	倉庫管理 の徹底 採用計画の検討、実行 の通知 周知徹底、チェック、指導

※次年度も上記と同様の計画で実施します。

[6]環境活動計画の取組結果とその評価

当社では、環境目標を達成するために以下のような活動を実施しております。その達成状況・実施状況を事務局が確認フォローしております。

0	出来ている
\circ	改善されてきている
\triangle	現状維持
×	悪化している

① A. 電力使用量削減【責任者:品竹 大輔】	担当部署	評価	コメント	次年度計画
・作業場内の不使用場所の消灯、不要箇所の減灯	全部署	0		
・長時間未使用のパソコン・コピー機等の電源オフ	全部署	0		
・退社時のパソコン・コピー機等の電源オフ確認	全部署	0	「電力使用量削減パ	
・節電モードの利用	全部署	0	トロール」チェックリ	
・トイレ不使用時、通路照明不要時の消灯	全部署	0	ストにて対応。	継続
会議室、応接室等の不使用時の消灯	全部署	0	結果は「良好」。	
・その他、不使用場所の消灯、不要箇所の減灯	全部署	0		
・適正な冷暖房温度(室内温度)の見直し	全部署	0		
・節電対応型機種への変更ならびに導入の検討	全部署	0		

① B. ガソリン使用量削減【責任者:品竹 大輔】	担当部署	評価	コメント	次年度計画
・エコドライブの徹底	全部署	0	工務部軽自動車以外	
・無用なアイドリング防止	全部署	0	は順次ハイブリッド	◇N L ◇ 士
・運転日報の作成	全部署	0	自動車に変更。	継続
・エコカー導入	全部署	0		

② 廃棄物のリサイクル化【責任者:品竹 大輔】	担当部署	評価	コメント	次年度計画
・定められた方法に従って分別	全部署	0		
・種類毎の廃棄物置場に収集、分別	全部署	0	現場での分別方法を	小小小牛
・各廃棄箱に表示	全部署	0	再度検討する。	継続
・混合物の分別によるリサイクル化向上	全部署	Δ		

③ 水資源使用量の維持管理【責任者:品竹 大輔】	担当部署	評価	コメント	次年度計画
・洗い物、お茶だし等地下水の節水	全部署	0	水資源を浪費した作業	
・使用後の蛇口の閉栓	全部署	0	をしないよう、全従業員	継続
・洗濯時の流水チェック	全部署	0	に徹底した。	

④ 化学物質使用量の維持管理【責任者:品竹 大輔】	担当部署	評価	コメント	次年度計画
・倉庫管理の徹底	全部署	0	倉庫内の整理整頓と	
			施錠の確認、管理方法	継続
			の周知をおこなった。	

⑤ 人材確保資格取得の推進【責任者:品竹 大輔】	担当部署	評価	コメント	次年度計画
・採用戦略の検討、実行、情報収集の徹底	全部署	0	世界ではよりよう	
・職場環境、勤務環境の向上	全部署	0	勤務環境をよくする ために働き方改革へ	継続
・補助金の活用・資格試験開催時期の通知	全部署	0	ために働き方以早へ の対応を進めていく	术还形定
・取得ルールの見直し	全部署	0	の別心を延めていく	

⑥ 元請工事の確保【責任者: 内田 聡】	担当部署	評価	コメント	次年度計画
・報告・連絡・相談の徹底	全部署	0		
・技術者の増員	全部署	Δ	受注アップの為人材 確保、定着率向上に尽	継続
・営業戦略の立案	全部署	0	確保、足有率円上に尽 力していく。	水压的定
・工事評価(顧客満足度)の向上	全部署	0		

[7]環境目標の達成状況(実績)

当社における過去3年間の実績は以下の通りである。

過去3年間の比較			5年度 4/10 月~ 5/9 月	6年度 5/10 月~ 6/9 月	前年度対比	達成 状況
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO ₂ /年)	210,317	204,011	195,970	▲3.9%	0
<電気使用量>	量(Kwh/年)	134, 312	128, 476	124, 782	▲ 2.9%	_
<ガソリン使用量>	量 (L/年)	62, 210	59, 942	57, 676	▲ 3.9%	_
<軽油使用量>	量 (L/年)	1, 777	2, 403	1, 984	▲ 17.4%	_
一般廃棄物排出量	総量(トン/年)	18.7	18.5	19	102%	
廃棄物排出量	総量(トン/年)	75.56	70.19	50.7	_	
廃棄物リサイクル率	比率(%/年)	39.7%	66.7%	67%	_	×
総排水量	総量(m³/年)	382	369	357	▲3.3%	
化学物質使用量	総量(kg/年)	4.16	2.83	2.79	_	
人材確保資格取得	比率(%/年)	35%/7.5%	34.2%/0%	33.1%/5.1%		0
元請工事割合	比率(%/年)	28.5%	45.1%	32%	_	0

※排出係数=0.457

(1)二酸化炭素排出量

- ① 電気に関しては、前年度対比▲2.9%で目標達成となった。熱海は現場での利用が増え増加した。函南、厚木は常駐現場が増えた関係もあり、減少となった。今後使用料の値上げが確定しているため料金は間違いなく増加に転じるので、デマンド値を確認しながら少しでも削減できるよう検討していく。
- ② ガソリンは、前年対比▲3.9%となった。昨年同様常駐現場が継続して多く、車両の移動距離の減少が要因の一つとなっている。燃費悪化の原因となる荷物の詰め過ぎ、タイヤの管理等をすすめている。
- ③ 軽油はここ数年は増加傾向となっているものの昨年の稼働が多かった分、、前年対比▲17.4%となった。 現場により使用頻度が変わるため、削減を目標とするのは難しいが、燃費の管理をしっかりしていく。

(2)一般廃棄物排出量

ほぼ前年と同水準となった。

(3) 廃棄物排出量・リサイクル率

元請割合が減ったため前期と比較して全体の量は大きく減少した。リサイクル率としてはほぼ前年同様となっている。目標達成に少しずつでも近づけるように現場での分別や業者の選定について、継続して検討を進めたい。

(4)総排水量

▲3.3%となった。今後も継続して水の浪費が無いようチェックしていく。

(5) 化学物質使用量

使用量が少ないので適正な管理を維持目標としている。継続して倉庫内の整理を行い、余計な購入を抑えて無駄を無くしていくと共に、SDS の更新、周知も続けて行っていく。

(6) 人材確保及び資格取得の促進

新規資格取得者、若年技術者の両方の目標達成となった。

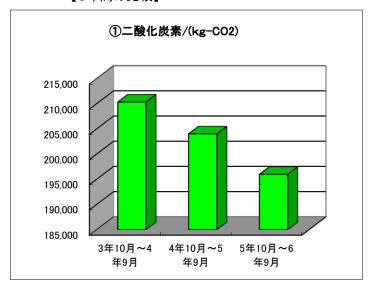
人材の確保については厳しい状況が続いている。採用活動には相当力を入れているが、確実な方法があるわけではないので、色々と模索しながら人員確保に繋げられるようにしたい。

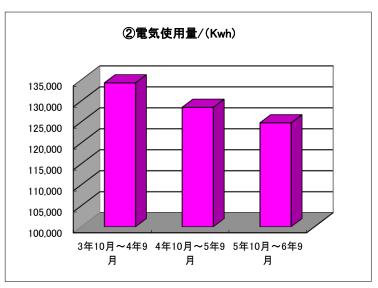
(7)元請工事割合

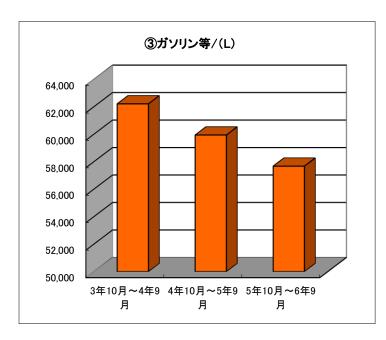
今期は32%で目標達成となった。

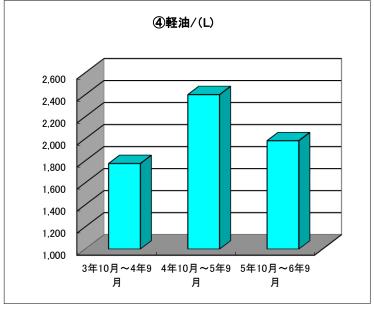
資材の納期や働き方改革による工期の長期化、担当者の不足、下請業者の高齢化及び職人不足もあり思うような受注が出来ないことも増えてきている。社内外の情報共有を確実に行い、臨機応変に対応できるようにする。

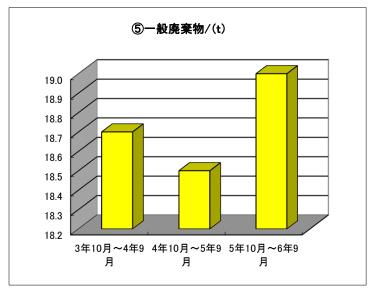
【3年間の比較】

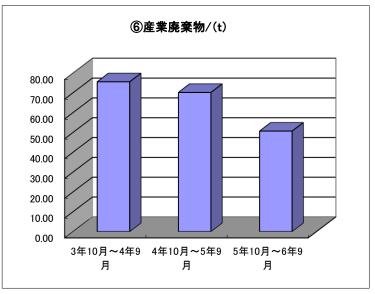


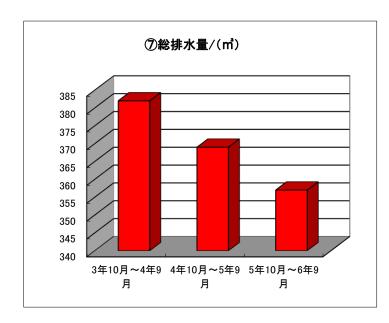


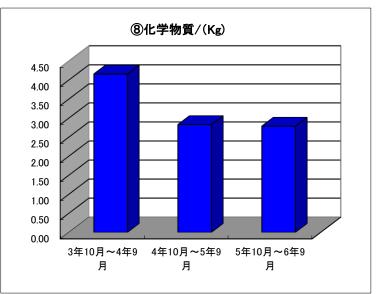


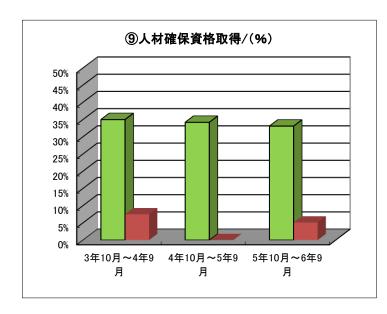


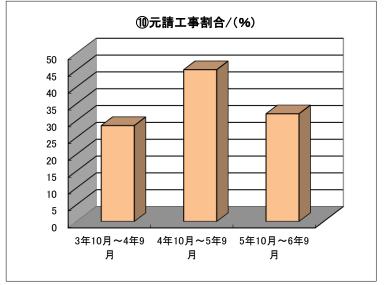












次年度目標 変更なし

[8]環境関連法規への違反、訴訟等の有無

大気汚染物質、水質汚濁物質、騒音、振動等の違反について遵守状況を確認した結果、違反はなかった。また、 関係機関等から特に指摘等も無かった。くわえて訴訟等も同様に1件も無かった。

【環境法規制等一覧表】

令和7年1月31日

₽ ±h-			
名称	当社の現状	要求事項	要求に対する対応
自動車NOx・ PM法(施行 令、施行規則)	ディーゼル車 (2台) ⇒全て適合車	対策地域(東京、神奈川、愛知等)を走行するときには NOx・PMに係る環境基準を遵守する。	対応済み
下水道法	公共下水道使用	汚水基準PH5~9未満	対応済み
騒音規制法	業務用エアコン	定格出力 3.75kwh 以上は設置の届出 (静岡県生活環境の保全等に関する条例)	対応済み
廃棄物の処理および清掃に関する法律	廃プラ等:東部処理・日野金属産業・静勝へ委託 一般廃棄物:処理場へ持ち込み(厚木)、東部処理に委託(函南町)	 ① 廃棄物は自らの責任で適正処理する ② 廃棄物の再生利用等により減量化に努める ③ 国、地方公共団体の施策に協力する ④ 廃棄物の委託の基準等を遵守する ⑤ 保管場所に掲示板(60cm×60cm)を設置 ⑥ 委託先の許可証を確認する ⑦ 委託契約書を締結する ⑧ 廃業廃棄物管理票(マニュフェスト)の使用 ⑨ 焼却禁止、投棄禁止 ⑩ 水銀含有製品の一時保管と処分業者との委託契約の締結 ⑪ マニフェスト交付状況報告 	対応済み
静岡県産業 廃棄物の適 正な処理に 関する条例		① 産業廃棄物管理責任者の設置② 毎年1回以上定期的に実地確認を行う	対応済み
フロン排出 抑制法	業務用エアコン 冷蔵機器	四半期に一度室内機、室外機の簡易点検を行う	対応済み
化学物質管 理促進法	塗料等	① SDSの収集② 使用量の把握	対応済み
家電リサイク ル法ル関係建設リサイク ル法	テレビ、エアコン洗濯機、冷蔵庫	① 特定家庭用機器をなるべく長期間使用する② 廃棄物として排出する場合は、運搬する者に適切に引き渡し、料金の支払いに応じる	対応済み
	建設現場	① 建設副産物のリサイクル② 80平米以上の場合の届出	
建設業法	建設業許可証取得	① 5年毎の更新	対応済み
	済み	② 変更届の提出	
	P か下騒廃理掃律静廃正関フ抑化理 家ル 建B か大大	PM法(施行 令、施行規則) ⇒全て適合車 下水道法 公共下水道使用 騒音規制法 業務用エアコン 廃棄・日野・金属で 理・日野・金属で 理・日野・金属で 理・日粉のである。 一般のででのでででででででででできる。 一般のでででででででできる。 一般のでででででできる。 一般のででででででできる。 一般のででででででできる。 一般のでででででできる。 一般のででできる。 一般のででできる。 一般のででできる。 一般のででできる。 一般のででできる。 一般のででできる。 一般のででできる。 一般のでできる。 一般のででできる。 一般のでできる。 一般のでできる。 一般のでできる。 一般のでできる。 一般のでできる。 一般のでできる。 一般のでできる。 一般のでできる。 一般のでできる。 一般のでできる。 一般のでできる。 一般のでできる。 一般のでできる。 一般のでできる。 一般のできる。 一般のでできる。 一般のできる。 一般のでできる。 一般のできる。 一の	PM法(施行令、施行規則) (2台) 対策地域(東京、神奈川、愛知等を走行するときには NOx・PMに係る環境基準を遵守する。) 下水道法 公共下水道使用 汚水基準PH5~9未満 慶音規制法 業務用エアコン 定格出力 3.75kwh 以上は設置の届出(静岡県生活環境の保全等に関する条例) 魔変物の処理・日野金属産業・静勝へ委託 原プラ等:東部処理・日野金属産業・静勝へ委託 ② 廃棄物の再生利用等により減量化に努める 運および清掃に関する法 場へ持ち込み(厚本)・東部処理に委託(協力する) ③ 保管場所に掲示板(60cm×60cm)を設置 本 へ持ち込み(厚本)・東部処理に委託(協面町) ④ 疾主発棄・新管理票(マニュフェスト)の使用 () 焼却禁止、投棄禁止 ④ 水銀含有製品の一時保管と処分業者との委託契約の締結 () 水銀含有製品の一時保管と処分業者との委託契約の締結 ① マニフェスト交付状況報告 () 産業廃棄物管理責任者の設置 ② 毎年1回以上定期的に実地確認を行う ロン排出 抑制法 常務用エアコン 冷蔵機器 ② 毎年1回以上定期的に実地確認を行う か成機器 ② 年1回以上定期的に実地確認を行う 企業科等 ① SDSの収集 運促進法 ② 使用量の把握 家電リサイクル法 大ビ、エアコン 洗濯機、冷蔵庫 ① 特定家庭用機器をなるべく長期間使用する 企業・対して非出する場合は、運搬する者に適切に引き渡し、料金の支払いに応じる 2 廃棄物として非出する場合は、運搬する者に適切に引き渡し、料金の支払いに応じる 建設リサイク 建設引機 ① 建設副産物のリサイクル

[9]代表者による全体評価と見直し

見直し日:令和7年1月31日

【見直しに必要なインプット情報】

(1) ヒアリングチェック・クロス監査の結果・法令順守 毎月実施している「ヒアリングチェック」の結果より、エコアクション21の構築状況ならびに 運用状況はおおむね良好である。なお、当社では環境内部監査は実施していない。

(2) 苦情を含む利害関係者からの重要な情報 現時点で「苦情を含む利害関係者からの重要な情報」はない。

(3) 組織の環境パフォーマンス

現時点で「組織の環境パフォーマンス」はおおむね良好であるが、削減できた状態を維持できるような取組みを検討、実施する。

(4) 環境目標の達成

「ヒアリングチェック」の結果などから、従業員全員を対象とした活動により「環境目標」の 内容は周知徹底されているが、全目標の達成には至っていない。

(5) 問題点の是正処置および予防処置の状況

廃棄物の扱いについては元請割合、工事内容により変わってくる。リサイクル率も排出する 廃棄物によって上下するものの、現場での分別、産廃業者の選定の際に最終処理等まで考慮し 今後より一層改善できるよう進めていく。

- (6) 前回までの見直しの結果に対するフォローアップ フォローアップ事項は特にない
- (7) 環境関連法規等を含む周囲の状況の変化 エコアクション21運用見直しにつながる「環境法規制等の制定、改正、廃止」はない。
- (8) 改善のための提案・その他

環境マネジメントシステム見直し記録 $(1)\sim(7)$ の項目以外の「レビューにあたって考慮する事項」は該当なし。「改善のための提案」もない。

【トップマネジメントによる見直し結果】

今年度も継続して取り組むこととする。

[10]地域貢献活動について

静岡県設備協会の会員として、ボランティア活動に参加しました。

<国道一号沼津バイパス 原地区センター北~原東町 歩道部分の道路清掃美化活動> 実施日 : 令和6年2月5日



社会奉仕活動参加証明書



